

社高教育課程実践モデル事業通信

1号 2017.12.8

岡山芳泉高校 コミュニケーションディを参観して

先月15日、進学重視型単位制高校の岡山芳泉高校の授業を参観してきました。3年生理系クラスで行われている、物理の授業を紹介します。

<授業の流れ>生徒はあらかじめ指定された問題4題を家で解いてきます。大学入試標準レベルの問題集です。四人一組で模範解答を作成していくというのが大まかな流れです。解答は略解しかありません。タイマーがプロジェクターで映し出され、生徒たちはいつも通りのタイムテーブルで活動しているようです。

物理教室に来てまず、トランプをくじ引き代わりにしてその日のグループを決め、四人一組のグループで座ります。最初は、各グループで各自解いてきた答案(各自のノートですが)を見せ合います。自然とお互い質問や疑問点が話し合われます。

つぎに、各グループで4つの問題のポイントや、解答する上で必要な図などをホワイトボードに書き出していきます。机上では、大きなホワイトボードとは別に話し合い用のA3程度の大きさのホワイトボードがあり、それを使い「あーだこーだ」といながらディスカッションします。生徒が発表する代わりに担当の先生が、大きいホワイトボードに書かれたポイントをiPadで撮影し、良いグループのものをプロジェクターで投影して生徒みんなに紹介したり質問したりします。

授業自体は、その後、振り返りのシート(毎回同じものようですが)に記入をし、提出して帰って行きますが、模範解答を各グループで提出するという課題が残っています。教室の後ろのテーブルには今までに提出された生徒による模範解答が何種類かおいてありました。

<感想>この時期はひたすら問題演習をする時期です。今回拝見したやり方は、一見すると生徒は忙しく動き回りみんな理解できているのか?と疑問に思う面もあります。しかし、生徒自身は、生徒どうしの対話によって考えや理解を深めるスキルが身につけていて、「動き回って対話することが当たり前」のことになっているのかもしれない。

(理科 柳楽明久)



トランプ、振り替えりシート、提出用解答用紙



グループでの活動

ホワイトボードにはポイントや図だけ記入



教室の後ろにおいてある生徒による模範解答
(配布用)